



ていがくねん
低学年におすすめ！



『よわむしおばけ』

(作：わたなべ めぐみ 絵：原 ゆたか / 理論社)

おばけのコールタールは、よわむしで
なにをやっても失敗ばかり。おばけの仕事
である人間をこわがらせることも苦手
で、ほかのおばけたちからばかにされて
います。それでもめげずに人間をおどろ
かせたり、おばけの天敵である犬と仲良
しになったり……。おちこぼれおばけが
まきおこす、楽しくゆかいなお話です。



『やきいもするぞ』

(作：おくはら ゆめ / ゴブリン書房)

もり お ば 森は落ち葉だらけで、畑はおいもだら
け。「こうなったらしょうがない」「やきい
もするぞ エイエオー！」 あっつあつの
やきいもをほおばる森の動物たちはとても
しあわ 幸せそう。そしておなかいっぱい食べた後
は、「おなら大会」のはじまりです。かわい
いおならに元気なおなら、ついにはおいも
の神様まで登場して…！？ 秋にぴった
りの、家族みんなで楽しめる絵本です。



ちゅうがくねん

中学年におすすめ！



『ホテル やまのなか小学校』

(作：小松原 宏子 絵：亀岡 亜希子 / PHP研究所)

100年^{ねんつづ}続いてきたけれど、^{はいこう}廃校になっ
てしまった「やまのなか小学校」。最後の^{さいご}
^{そつぎょうせい}卒業生のミナさんは、^{ともだち}友達のうさ子、コ
ンタといっしょにやまのなか小学校をす
てきなホテル^{しょうがっこう}にしていきます。一年一組が
食堂^{いっしょく}に、プールが露天風呂^{いっねんいちくみ}に…。

一風^{いっふうか}変わったこのホテル、どんなお客^{きやく}
さんたちが訪^{おとす}れるのでしょうか。



『アイスクリームが溶けてしまう 前に (家族のハロウィーンのための連作)』

(著：小沢健二と日米恐怖学会 / 福音館書店)

「お菓子^{かし}をくれないと、いたずらするぞ！」
今日^{きょう}は、ハロウィーン。手作りの衣装^{てづく いしよう き}を着
た子どもたちが、わくわくしながら町^{まち}へと
くりだす特別な日^{とくべつ ひ}。そしてハロウィーンは、
家族^{かぞく}にとっても特別な一日^{とくべつ いちにち}なのです。

家族^{かぞく}といっしょに過ごす時間^{す じかん}が、いかに
大切^{たいせつ}でかけがえのないものかを感じるこ
とができる一冊^{いっさつ}です。



こうがくねん
高学年におすすめ！



まほう 『魔法ねこベルベット』

(作：タビサ・ブラック 訳：武富 博子)

絵：くおん れいの / 評論社)

両親の都合で、寄宿学校に転校することになったページ。最初は不安でいっぱいでしたが、ルームメイトのシャノンとサマーに出会い、すぐに学校生活になじんでいきます。そして三人の前に現れたのは、ふしぎな力をもった黒い子ねこでした。

仲良し三人組と子ねこがくりひろげる、ドキドキワクワクの学園物語です。



『ビブリオバトルへ、ようこそ!』

(作：濱野 京子 絵：森川 泉 / あかね書房)

自分の好きな本を紹介し合い、参加した人たちが一番読みたいと思う「チャンプ本」を決めるビブリオバトル。図書委員会のイベントでビブリオバトルに参加することになった柚希は、物語以外にもいろいろな本があることを知ります。

バトルを通してたくさんの本に出会った主人公が、本と図書館を大好きになっていく物語です。